

8割が家庭内の節電を意識

9割以上が「空調・照明」周りの節電に取り組む

— 夏季の節電に関する調査 —

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20120725/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学、以下「楽天リサーチ」）は、夏季の節電に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、7月10日から11日にかけての2日間、楽天リサーチ登録モニター（約225万人）の中から、20歳から69歳の男女計1,000人を対象に行いました。

■ □ 調査結果概要 □ ■

【総論】

電気料金の値上げなどに関するニュースが連日話題になっている中で、節電に対する意識について聞いたところ、一般的に5割近くが節電を意識しており、東日本大震災以前から高い節電意識を持っている人が多いことが分かった。

家庭内での夏季の節電を意識している人は約8割という結果となり、そのうち、一番関心が高かったのは、「空調・照明」シーンで節電している人が9割以上となった。身近な節電対策を実行している人が多いようだ。

■ 一般的に節電を意識している人は約5割。「震災前から」節電を意識している人は過半数

一般的に、節電に対する意識について全員に聞いたところ、「やや高い」（39.5%）、「非常に高い」（7.7%）を合わせると、約5割（47.2%）となった。

節電意識が「やや高い」「非常に高い」と答えた人に、意識が高まった時期をたずねたところ、「震災前から」が54.2%、「震災直後から」が34.1%となった。東日本大震災以前から高い節電意識を持っていた人が多いことがわかった。

■ 家庭内の節電を意識している人は8割。うち9割超が「空調・照明」を節電の対象に

家庭内で節電を意識している人は、「意識している」（31.8%）と「やや意識している」（48.2%）を合わせると8割と非常に高い結果になった。

そのうち、家庭内で節電を意識している具体的な分野は（複数選択）、「空調・照明」が92.0%、「炊事（調理・台所仕事）」が31.6%、「洗濯」が23.4%、「掃除」が20.0%などとなっている。

■ 「空調・照明」分野の節電方法トップは、「きめ細かく消灯する」

節電を意識している分野として一番高かった「空調・照明」(92.0%)では、「きめ細かく消灯する」(79.1%)がトップで、以下、「日中は照明を消す」(74.6%)、「扇風機・サーキュレーターを使用する」(62.0%)、「冷房温度を28℃以上に設定する」(46.2%)、「フィルターなどの掃除を行う」(40.4%)と続いている。「きめ細かく消灯する」など日常で習慣化されているようだ。

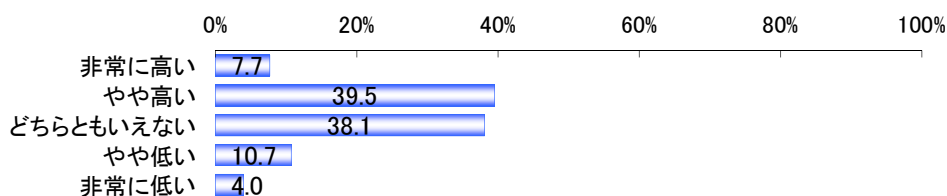
■ □ 調査結果 □ ■

■ 5割近くが節電を意識。「震災前から」節電を意識している人が多数

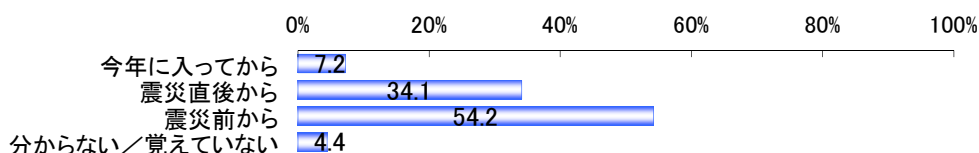
一般的に、節電に対する意識について全員に聞いたところ、節電意識が「やや高い」は39.5%、「非常に高い」は7.7%で、5割近く(47.2%)が節電を意識していることがわかる。一方、「どちらともいえない」という回答も4割近く(38.1%)にのぼっている。

節電意識が「やや高い」「非常に高い」と答えた人に、意識が高まった時期をたずねたところ、「震災前から」が54.2%、「震災直後から」が34.1%となった。東日本大震災以前から高い節電意識を持っていた人が多いことがわかった。

◇節電に対する意識 (n=1,000) 単位：%



◇節電意識はいつから高まった？ (n=472) 単位：%

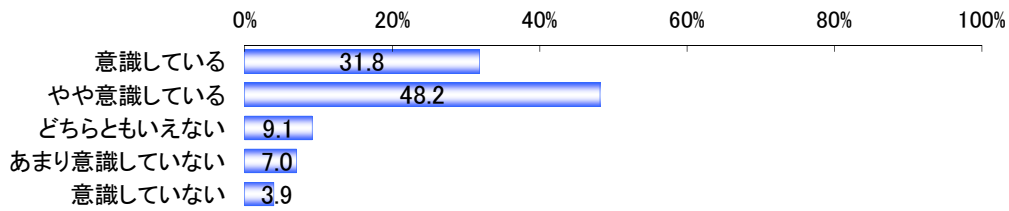


■ 家庭内の節電を意識している人は8割。うち9割超が「空調・照明」を節電の対象に

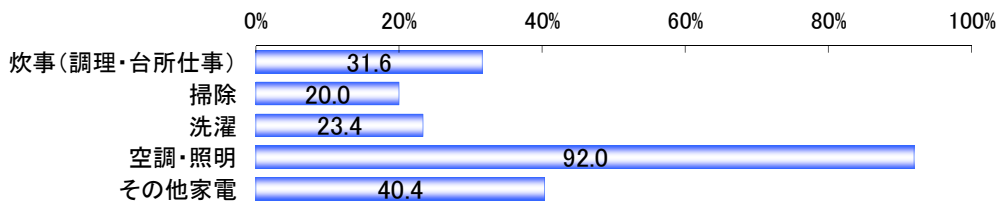
家庭内で節電を意識している人は、「意識している」(31.8%)と「やや意識している」(48.2%)を合わせると8割と非常に多くの人意識していることがわかった。

そのうち、家庭内で節電を意識している具体的な分野は(複数選択)、「空調・照明」が92.0%、「炊事(調理・台所仕事)」が31.6%、「洗濯」が23.4%、「掃除」が20.0%などとなっている。

◇家庭内での節電について (n=1,000) 単位：%



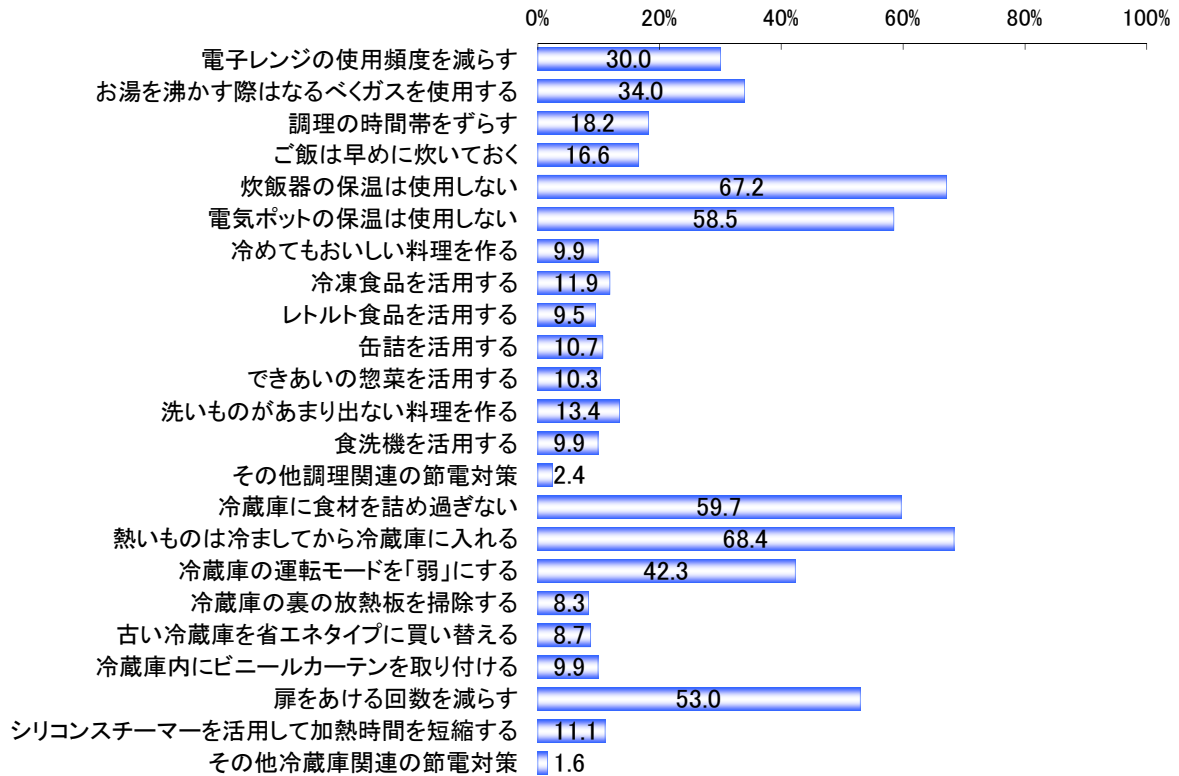
◇節電を意識している分野は? (n=800) 複数選択 単位：%



■ 「炊事」分野の節電方法トップは、「熱いものは冷ましてから冷蔵後に入れる」

各分野における節電方法を聞いた（すべて複数選択）ところ、「炊事」（調理・台所仕事）では、「熱いものは冷ましてから冷蔵後に入れる」（68.4%）、「炊飯器の保温は使用しない」（67.2%）、「冷蔵庫に食材を詰めすぎない」（59.7%）がトップ3の回答で、以下、「電気ポットの保温は使用しない」（58.5%）、冷蔵庫の「扉をあける回数を減らす」（53.0%）などが続いた。

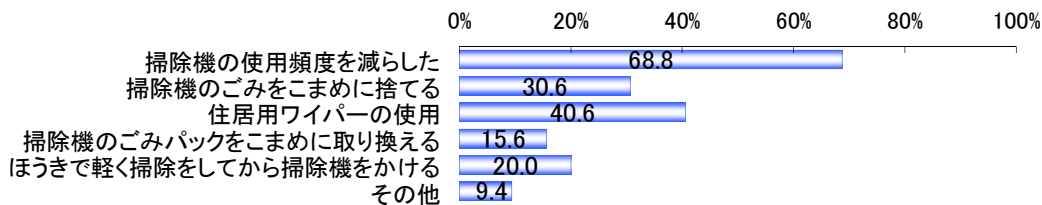
◇「炊事」（調理・台所仕事）に関する節電の方法（n=253）複数選択 単位：％



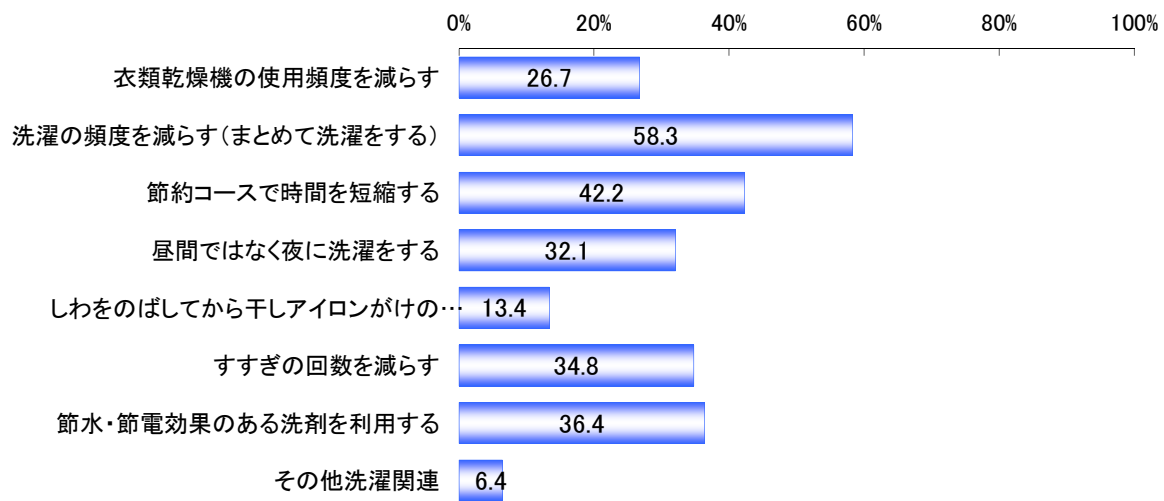
■ 「掃除」「洗濯」はともに、「頻度を減らす」が節電方法のトップ

「掃除」では、「掃除機の使用頻度を減らした」（68.8%）、「住居用ワイパーの使用」（40.6%）、「掃除機のごみをこまめに捨てる」（30.6%）がトップ3の回答だった。一方、「洗濯」では、「洗濯の頻度を減らす（まとめて洗濯をする）」（58.3%）、「節約コースで時間を短縮する」（42.2%）、「節水・節電効果のある洗剤を利用する」（36.4%）がそれぞれトップ3の回答となった。

◇「掃除」に関する節電の方法（n=160）複数選択 単位：％



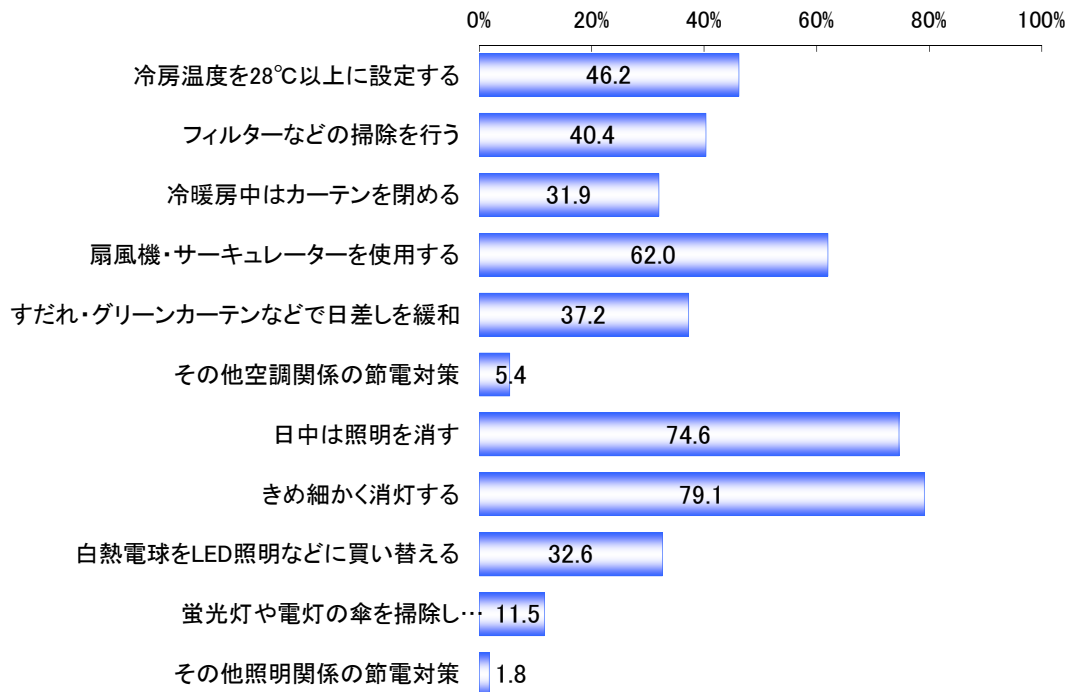
◇「洗濯」に関する節電の方法（n=187）複数選択 単位：％



■ 「空調・照明」分野の節電方法トップは、「きめ細かく消灯する」

節電を意識している分野として92.0％と一番高かった「空調・照明」では、「きめ細かく消灯する」（79.1％）がトップで、以下、「日中は照明を消す」（74.6％）、「扇風機・サーキュレーターを使用する」（62.0％）、「冷房温度を28℃以上に設定する」（46.2％）、「フィルターなどの掃除を行う」（40.4％）と続いている。「きめ細かく消灯する」など日常で習慣化されていることが節電方法として定着しているようだ。

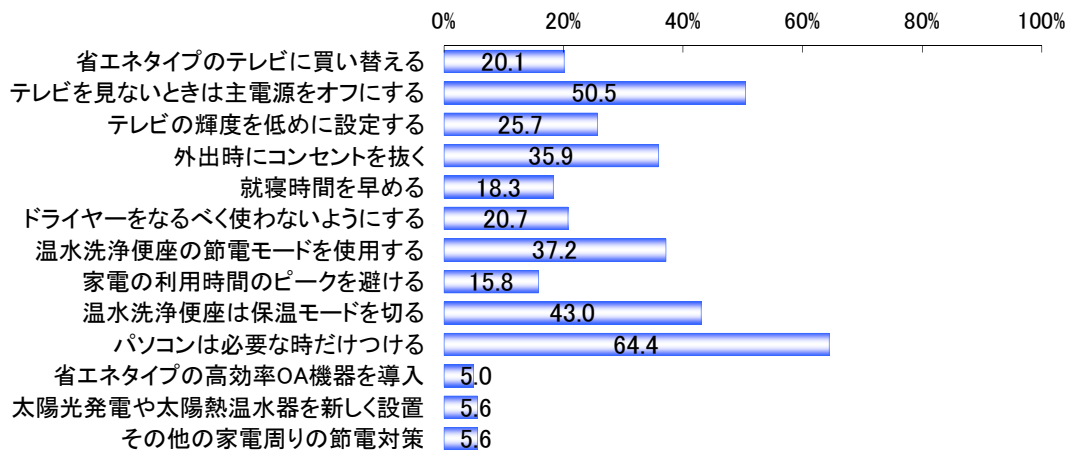
◇「空調・照明」に関する節電の方法（n=736）複数選択 単位：％



■「その他の家電」の節電方法トップは、「パソコンは必要な時だけつける」

「その他家電」で最も多かった節電方法は、「パソコンは必要な時だけつける」で、64.4%だった。ほかに、「テレビを見ないときは主電源をオフにする」（50.5%）、「温水洗浄便座は保温モードを切る」（43.0%）、「温水洗浄便座の節電モードを使用する」（37.2%）、「外出時にコンセントを抜く」（35.9%）などの回答が多かった。

◇「その他家電」に関する節電の方法（n=323）複数選択 単位：％

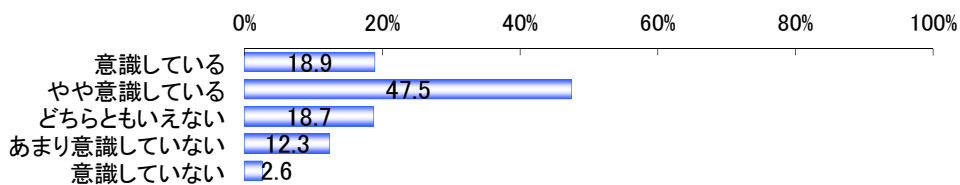


■ 7割近くが夏の暑さ対策を意識。対策法トップは「うちわ・せんすを利用する」

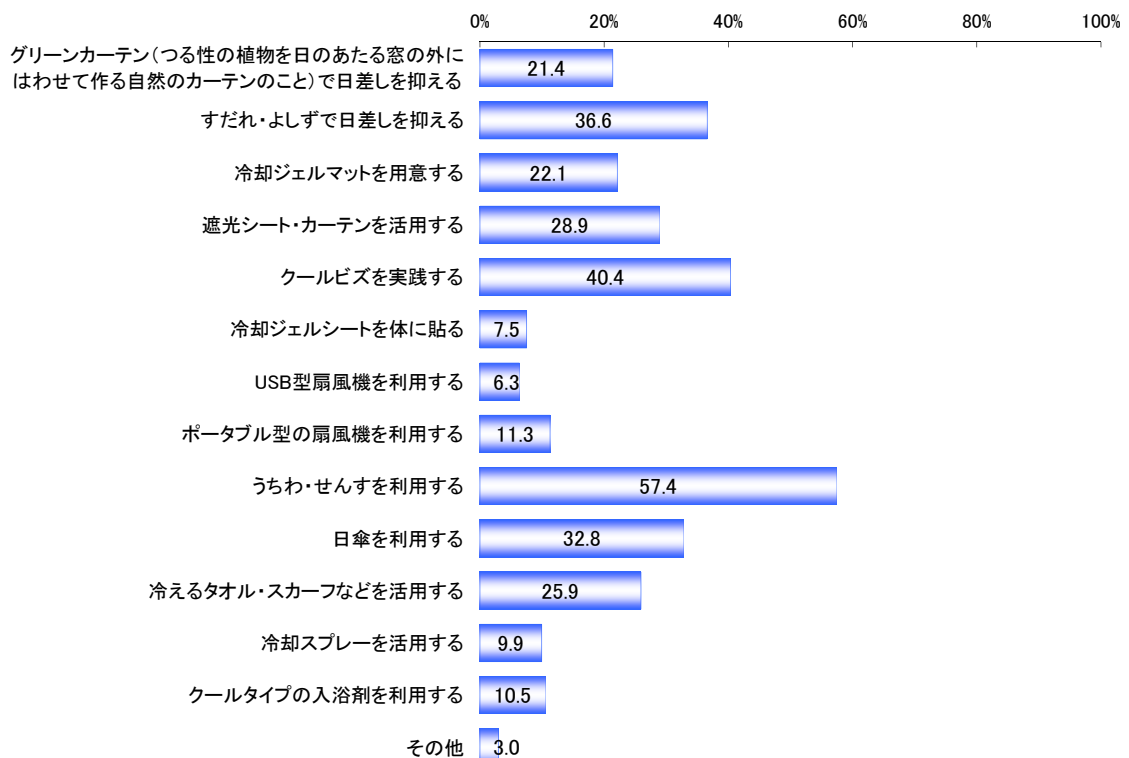
夏の暑さ対策について全員に聞いたところ、「意識している」(18.9%)と「やや意識している」(47.5%)を合わせると、7割近く(66.4%)が暑さ対策について考えていることがわかった。

現在取り組んでいる具体的な暑さ対策は(複数選択)、「うちわ・せんすを利用する」(57.4%)、「クールビズを実践する」(40.4%)、「すだれ・よしずで日差しを抑える」(36.6%)といった回答が上位となった。ほかに多かった回答は、「日傘を利用する」(32.8%)、「遮光シート・カーテンを活用する」(28.9%)などで、身に着けるもので工夫を凝らす人が多いようだ。

◇暑さ対策の意識 (n=1,000) 単位：%



◇現在取り組んでいる暑さ対策 (n=664) 複数選択 単位：%

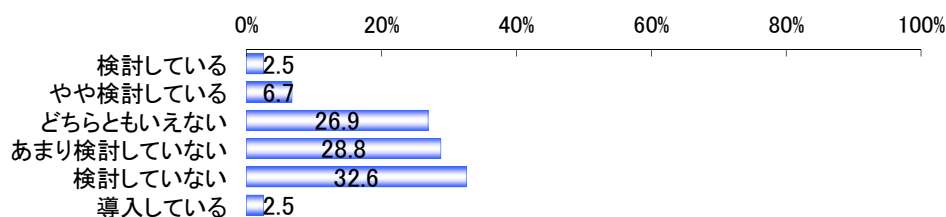


■ 節電対策設備、導入は少数派。人気のある節電設備は「LED照明」

節電対策設備を導入、もしくは導入を検討しているかどうかを全員に聞いたところ、「検討していない」という回答が最も多く、32.6%だった。「あまり検討していない」(28.8%)、「どちらともいえない」(26.9%)がそれに続いている。「検討している」「やや検討している」の合計は9.2%、「導入している」は2.5%にとどまっている。節電対策の設備投資は先延ばしにしている人が多いようだ。

さらに、「検討している」「やや検討している」「導入している」と回答した人に、節電対策設備ごとの導入状況、もしくは検討状況をたずねた(複数選択)。結果は、「太陽光発電システム」を「導入済み(使用中)」の人は10.3%、「検討中」の人は38.5%、「節電空調システム」を「導入済み(使用中)」の人は12.8%、「検討中」は35.9%、「LED照明」を「導入済み(使用中)」の人は23.1%、「検討中」は61.5%などとなった。比較的低コストで導入できるLED照明が、節電グッズの中では人気が高いようだ。

◇節電対策設備を導入(もしくは検討)している? (n=1,000) 単位: %



◇節電対策設備ごとの導入(もしくは検討)状況 (n=117) 複数選択 単位: %

	n	／ 導入 検討中 (設置 待ち)	導入 済み (未使用)	導入 済み (使用中)	／ 導入 検討中 で(設置 待ち)
1.太陽光発電システムの導入	117	45	2	12	58
	100.0	38.5	1.7	10.3	49.6
2.節電空調システムの導入	117	42	2	15	58
	100.0	35.9	1.7	12.8	49.6
3.LED照明の導入	117	72	5	27	13
	100.0	61.5	4.3	23.1	11.1
4.その他	117	34	4	7	72
	100.0	29.1	3.4	6.0	61.5

【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 20歳から69歳男女

回収サンプル数：1,000サンプル（性年代均等割付 各セル100サンプル）
調査期間：2012年7月10日から7月11日
調査実施機関：楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報部（担当：高田）
TEL：050-5817-1104 Email：pr@mail.rakuten.com